



カウンター・スーパーヒーロー映画 『バードマン』から考える現代アメリカ文化の行く末

5月15日
開催！

アレハンドロ・G・イニャリトゥ監督、マイケル・キートン主演の映画『バードマン』(2015年)は、かつては有名だった主人公が役者としての再起を懸けて奮闘する物語で、スーパーヒーロー映画で溢れかえる当時のアメリカの映画界を鋭く風刺しています。しかし、10年が経過してもなお本作は、アメリカ文化を読み解くうえで重要な示唆を与えてくれています。本作が言及する他作品、そして当時の文化背景を踏まえたうえでこの映画を「精読」してみましょう。

近藤 佑樹 (大阪大学大学院 人文学研究科 外国学専攻 助教)

大阪大学大学院修了。専門はフィリップ・ロスの作品群をはじめとする現代アメリカ文学・文化。



会場は大阪大学
箕面キャンパス
です！

【日時】 2025年5月15日 (木) 19:00-20:00

【場所】 大阪大学 箕面キャンパス 1F 大講義室

大阪府箕面市船場東3丁目5-10 またはオンライン

【お申込】 下記URLまたは右記QRコードから参加登録。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_GwMun4OARU-pzsUbNdUoow

登録時に受信したメールに記載のURLからご参加ください。
※対面参加はお申込み不要です。電話等では受付を行っていません。

【お問合せ】 大阪大学外国語学部 ☎ 072-730-5013

✉ jinbun-minoh-jigyo@office.osaka-u.ac.jp

【参加費】 無料

マンスリー 多文化サロン



👉 登録フォームはこちら

主催：大阪大学外国語学部

協力：みのお市民活動センター